

今を未来に

地区懇談会 前半を終えて

今週月曜日から、各地区で地区懇談会を開いていただいています。地区委員さんには、会場準備や地域の方への参加要請など、大変お世話になっています。

地区懇談会の内容は、あいさつ・自己紹介のあと、夏休みの生活について、地区内の危険箇所・「こどもをまもるいえ」の状況についてと進めていただき、参加型学習会となっています。すでに2日間地区懇談会を開催してきていただいた中で、今年度の学習会の意図が十分に伝わらなかったというご意見を参加



いただいた保護者の方からいただきました。26日の地区懇談会の前にこういったご意見がなぜ出てきたのかを職員で話し合い、PTA同推委員会として提案をさせていただいている意図を、学習会の中でも話に挟みながら学習会を進めていくようにと確認をさせていただきました。

参加型学習会の後、各地区での話し合い（小学校夏の除草作業の時の草刈り機、地区内での子どもたちの様子、通学路の確認・特に中間点の確認、通学班の様子、運動会の駐車場と観覧席、ベルマーク活動、各地区の夏の行事など）を行っていただいています。

「平日の仕事帰りの中で時間の都合をつけて行っている地区懇談会なので、実りのある内容にしてほしい。」というご意見に応えられるよう、職員もその想いで参加させていただきますので、一人でも多く保護者の皆様の参加がありますよう、よろしく願いいたします。

PTA保護者部主催 子どもの未来を語る会

昨日、保々小学校子どもの未来を語る会を開催していただきました。ここ数年は秋にヨガ教室などを行っていただいていたのですが、今年は本校でも毎年問題になっています「子どもたちの携帯・ネット利用に係る現状や問題点、保護者の役割について」を学ぶ講演会を企画いただきました。地区懇談会を開いていただいているこの時期に開催ということに、多少戸惑いもありましたが、講演いただく内容から夏休み前に行う方が効果的と考え、保護者部の皆様にはご無理をお願いしたところです。



講演会を受けて、職員と保護者の方が「子どもの未来」を考えた時、今のネット利用の状況はこれでいいのか、保護者の方からは具体的にわが子のことで悩んでいることを出していただき、話し合いをしていただきました。その中では、高学年になってスマホを持つようになり、その使い方への制限が守れていない子がいたり、危険性を考えずに自分だけの判断で動画をYouTubeにアップしている子がいたり、講師の先生のお話にもあったように「自分のスマホ・携帯」と思って好き勝手に使っている子がいたりして、かなり深刻な状況になっていると保護者の方は感じているということもわかってきました。携帯・スマホなどの購入費用や月々の利用料金は保護者の方が支払われているわけですから、学校では使い方などの指導をする時「それはお家の方から借りている携帯・スマホである」ことを忘れないようにと、指導をしています。一度自分の物と思ってしまうとその使い方も自分の好きにしていると勘違いする子がほとんどなので、子どもたちをネット被害やスマホ依存症から守るためにも「あなたに貸している携帯・スマホ」という考え方を元に、使い方へのルールは保護者の方が決める、またそれが保護者としての役割と考えていただくとよいのではないかと、話し合いを通して感じました。

【職員研修、すすめる】

6月20日(水)2限目に4年A組の方で、公開授業を行い、放課後職員研修会を開催しました。こ

の日の授業は、総合的な学習「保々の町づくりを考えよう」で、4年生が北勢中央公園に実際に行ってみて、町づくりで大切にされていることに自分たちで気づいていたり、大切にされなければならないと思っていることがそうないのはなぜかを考えたりしながら、自分たちの中にも同じように振り返って考えなければならないことはないのかを考え合う授業でした。

たくさんある話題の中で、この日は多目的トイレについて取りあげて話し合われました。子どもたちの調べによると、北勢中央公園にはトイレが7カ所あるそうです。その中で、現在2カ所の多目的トイレが使用不可になっているそうです。1つは木の根がトイレの配管に入り込み、詰まらせてしまっているからだそうです。もう1つは傘が配管の中に詰まっているようで、水を流せない状態になっています。そのうち1つの多目的トイレはおよそ2年間使用不可になっているそうです。多目的トイレは、体の不自由な方だけでなく、小さなお子さんを連れて公園に来た方も利用するトイレですから、なぜ2年間も直すことができないのかと、子どもたちはすぐ疑問に感じていました。また、なぜ傘が流されたのかもいろいろ考えていました。その話し合いをする中で、「普段の生活の中で自分たちの行動はどうか。」を振り返っていきました。世の中で起こっている出来事をただ批判するのではなく、こうしたことにつながるものが自分たちの生活の中にも起こっているのではないかと、高学年の総合学習ではどの学年も「自分事として捉えること」を、総合的な学習では大切にしたいと考えています。

4年生の子どもたちは、ぱっと見ると落ち着きがなく、それぞれが思っていることをどんどんしゃべっているように見える時もありますが、授業記録を見直してみると、自分の考えを自分の言葉で意見として出すことができる子が多くいることがわかってきました。そのことが、学力にも表れている学年です。今はまだ話し合いを進めるために担任の先生の舵取りが必要ですが、自分たちには自分たちで話し合える力があること、そのためには、友だちの意見をしっかりと聞き取り、考え合うことが大切であると気づけば、さらに自己解決能力や表現力を高めていける子どもたちだなあと感じた授業でした。

【子どもたちの様子から】

26日(火)、4年生は社会見学で水沢浄水場と四日市市クリーンセンターを見学させてもらってきました。子どもたちの見学の様子は、HPの速報に掲載してもらいました。昨年もそうでしたが、ここでも質問タイムになると、途切れることなく、どんどん質問が出され、私たちが思っている以上にメモをしっかりと取る4年生の子どもたちでした。水沢浄水場では、たくさんの飲料水が安全に作られていること、不審者や動物が敷地内に入れないように監視していることなどに興味を持っていました。四日市市クリーンセンターでは、2年前にこのセンターができたことでゴミの分別の仕方が変わった理由をしっかりと学び、環境マイスターにどの子もなれたようでした。

ただ、学校でもできていないと思っていたこの学年の課題(質問はできるけど、質問した子ですら回答いただいたことを最後まで聞き取っていない。回答いただいた方に「わかりました。」「ありがとうございます。」などと受け答えできる子がいない。友だちや施設の方が話している時におしゃべりをしてしまう。興味があると、すぐに触ってしまう。施設の方に「触るな!」と怒った口調で注意してもらわないといつまでも触っている。トイレに行く時にハンカチを持たないで行って、手洗いは手を振ったり、赤白帽子や服で拭いてごまかす。手洗い付近は水浸し、でもだれも何とかしようとは動けない。など)は、社会見学でちゃんとしようとして張り切っているだけではできないことと、改めてわかってきました。社会見学の振り返りの中で、自分たちのそんな姿をどう振り返るか、話し合っただけで済ませたいと思いませんでした。

